

Let'sアクティブ・ラーニング5 -1年次家庭科-

前号(第224号)に続き本校の「アクティブ・ラーニング」の取組の紹介です。
5月8日(月)1時間目, 1年次の「技術・家庭(家庭分野)」で樫戸先生の「アクティブ・ラーニング」の実践の公開がありました。

◆下の枠内の文章は、「技術・家庭(技術分野)」担当の村越先生が書いてくれました。

- 家庭科で、「家族とのかかわり」について学習しました。家族の関係は、家族内の「だれ」を中心に考えるかによって変わります。
- 本時では、2つの事例で「ロールプレイング」を行いました。班の中で立場や役割にそって演じる中で、**家族内の立場や役割**によって考え方や意見にも違いがでることを学びました。
- 「ロールプレイング」では、**父の立場**の時に**声色**を低くしたり**話し方**を変えたりして演じる生徒などが見られました。最後に「R80」で、家族の立場や役割についてまとめました。

今回の「アクティブ・ラーニング」の目玉は「ロールプレイング」でした。日本語で「**役割演技**」という学習法の一つです。複数の人がそれぞれ役を演じ、**疑似体験**を通じて学びます。現実の世界で、同様の場面に出た時、違和感なく対応できるメリットがあるといわれています。いろいろな学習に応用できそうですね。ポイントは、恥ずかしがらずに「**役になりきる**」ことです。今回、多くの皆さんが**声や話し方**を変えて、一生懸命演じている姿は、微笑ましかったです。「役者さん」のようでしたよ(^o^)

ところで、皆さんの中には「**RPG(ロールプレイングゲーム)**」を連想した人が多かったでしょう。これは、設定された世界で「**役割を演じるゲーム**」です。実は、今から**約30年前**、私が本校の前身である「**並木高校**」の教諭だった時、生徒に頼まれて「**RPG研究会**」の顧問をしていました。アメリカのテーブルトークRPGで、現在の全てのRPGの原点である「**D&D(Dungeons & Dragons)**」を研究する県内唯一の同好会でした。皆さんの「**大先輩**」たちも「**パイオニア(先駆者)**」だったのです(^_^)v。

